

マイクロプラスチック調査隊！ 科学の力で正体を探れ！

ほかんけん研究者体験

福岡市の砂浜を調査

中高生研究員8名が参加

市内の砂浜に漂着したマイクロプラスチックについて、研究員らが調査を行った。市内三ヶ所の海岸で採取した砂中の微細なプラスチック片を分別し、種類と個数を詳しく分析した。



科学機器で分析

マイクロプラスチックの種類は、フーリエ変換赤外分光光

度計(FTIR)を用いて判別した。さらに、走査電子顕微鏡(SEM)によって表面の傷や劣化の様子などを観察した。



令和7年
8月
22日

13:30
～
15:30

臨時号

清掃の有無で量に差

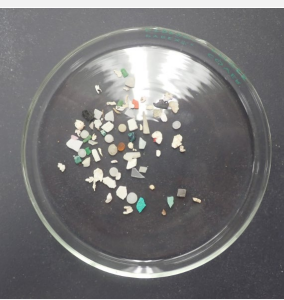
調査の結果、日常的に清掃が行われている砂浜では、マイクロプラスチックの量が少ない傾向が見られたという。

研究員たちは「日々の掃除や資源の再利用が、海洋ごみの削減につながる」と語り、マイクロプラスチック問題への理解を深めていた。

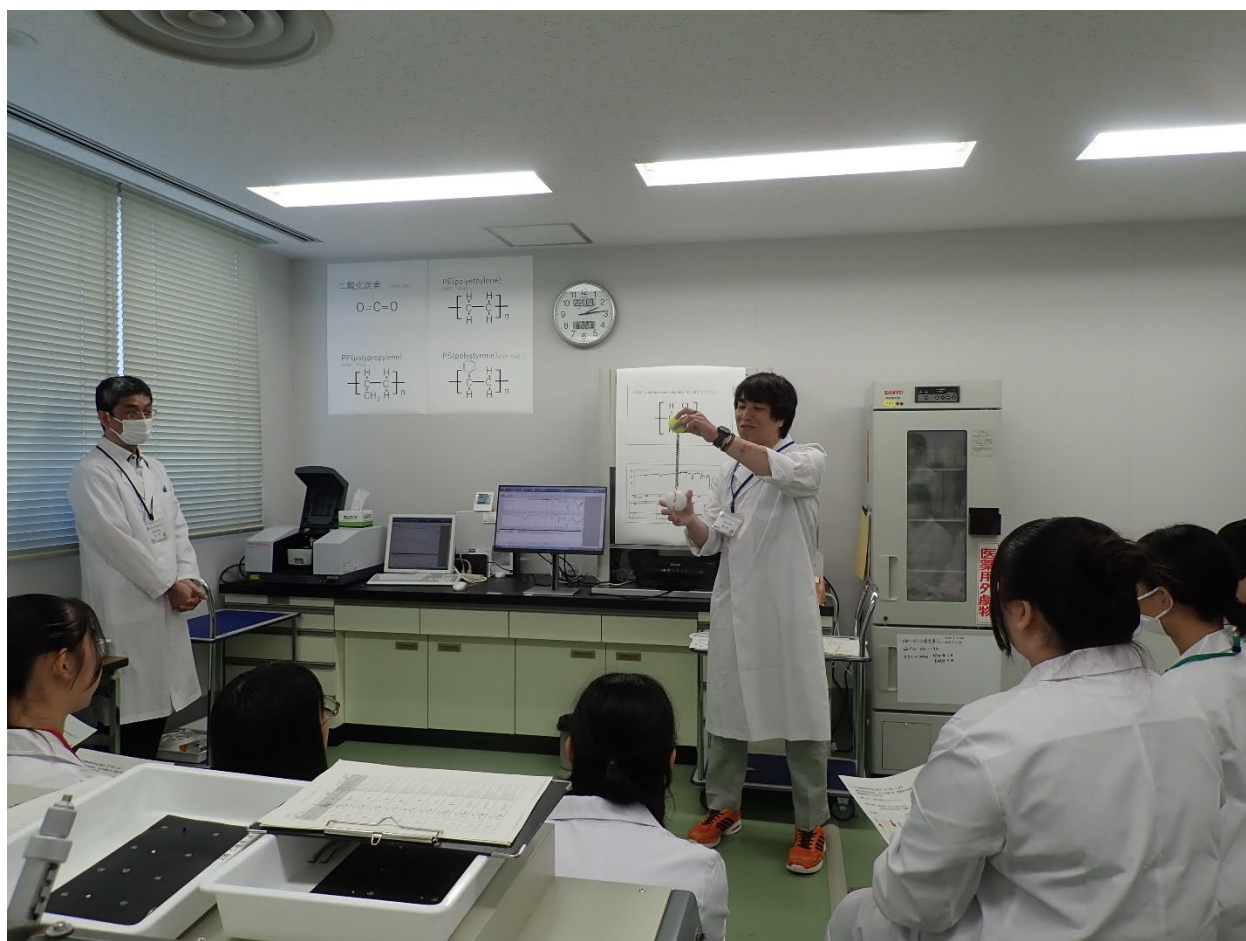


研究員の感想

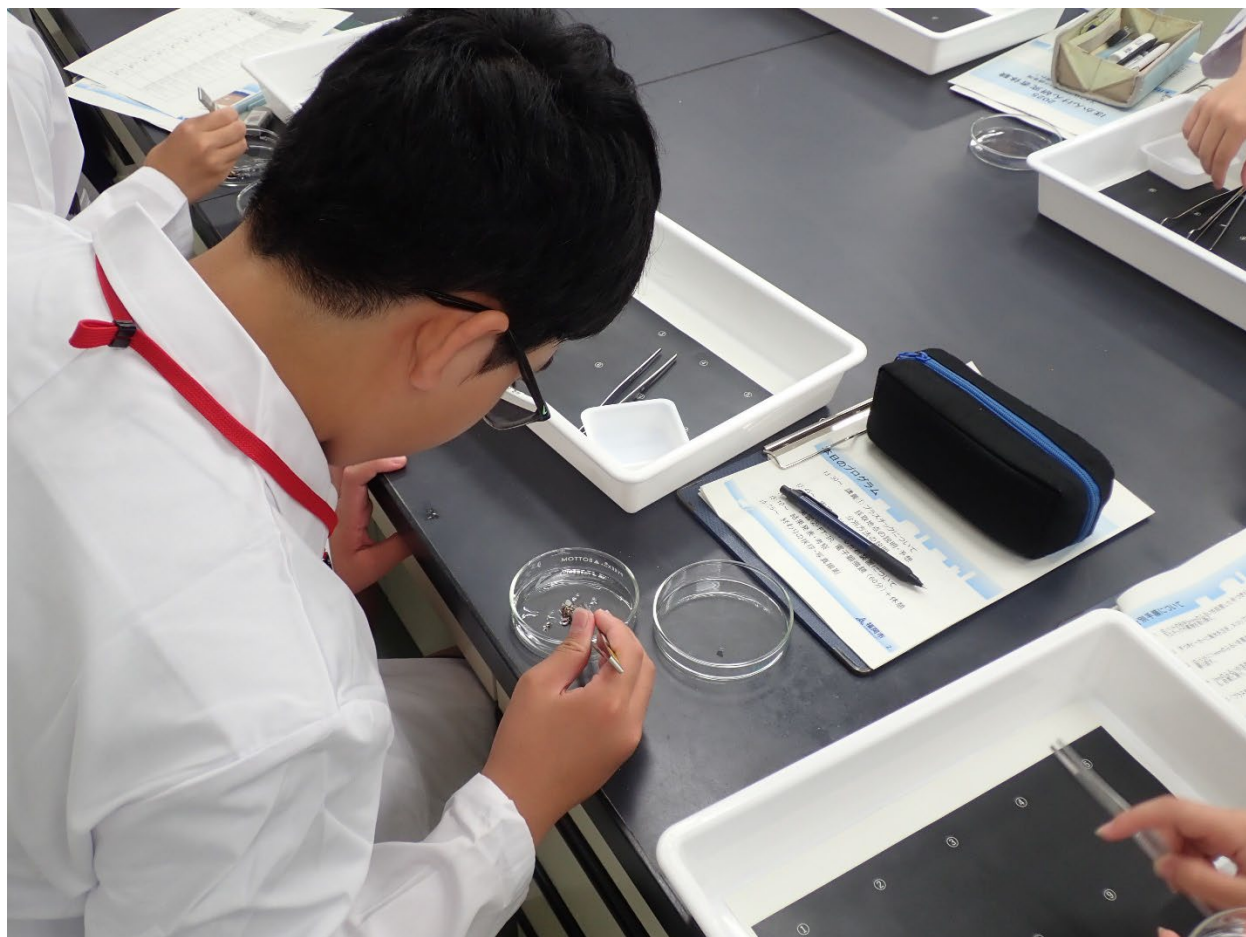
「小さなプラスチックは植物や石と見分けがつかなかった」
「身近なプラスチックにも興味湧いた」
「学校で使えない機器が使って嬉しかった」
「プラスチックの種類を分類できることに驚いた」



福岡市の砂浜から分類したマイクロプラスチック。鮮やかな色合いが目を引くが、その裏には環境問題が潜んでいる。



写真①



写真②